

学校教育目標「笑顔いっぱい ともに輝く小山台」



# 小山台

学校だより

5月号

令和5年4月28日

横浜市立 小山台小学校

## 小山台小学校の特色

校長 堀江 公子

さわやかな季節となりました。正門の花や校庭の芝生が朝の光を浴びながら、毎朝元気に登校してくる子どもたちを迎えています。

新年度が始まり早くも1か月が経とうとしています。どの学年の児童も学校生活の様々な場面で、入学や進級の喜びを感じながら過ごしているようです。また、6年生が1年生のお世話をしている様子をしばしば目にします。朝の支度や給食の牛乳パック開きなど、かわいい1年生に頼られて嬉しそうに教えている姿がとても素敵だと感じています。

先日は、授業参観・懇談会にご来校いただき、誠にありがとうございました。子どもたちの楽しく学習する姿を参観したり、保護者の方同士の親睦を深めたりすることができたことと思います。

さて、今年度より本校に着任した私は、「小山台小学校の特色は何ですか。」という質問を受けることがあります。“特色”と言われてすぐに思い浮かぶことは、たくさんあります。

例えば、「校庭が芝生であり、毎日その芝の上で子どもたちが遊んだり体育の授業を行ったりしている学校」「児童数が約220名の小規模校」「緑豊かで落ち着いた地域のなかの学校」などです。

確かに、これらはどれも「小山台小学校らしさ」を表した特色と言えます。しかし、私は“学校の特色”とは、その学校に“集う人々”こそが一番大きなものだと考えています。つまり小山台小学校に通う子どもたちや保護者の皆様、学校を惜しみなく支えてくださる地域の方々、卒業生、行政や関係機関の方、教職員です。その一人ひとりが小山台小学校を愛し、「子どもたちにとってよりよい小山台小学校」を

目指し、互いに協力しながら取り組んでいくことが、“特色”だと思います。その視点で見ると、本校は様々な面で前述の多くの人々に愛され、「子どもたちのために」をキーワードとして労を惜しまずご支援をいただいている特色ある学校です。

このような学校の特色を、今年度も引き続き教職員が丸となり、より大きくより豊かに成長させていきたいと思っております。皆様には、これまでと同様、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



子どもたちの学校生活の様子については、小山台小学校のホームページ「学校日記」に  
随時掲載しています。ぜひご覧ください。

